

# 夏休み



みなさん、こんにちは。2015年の半分か過ぎてしまい、もう6月ですね。私は、時間が経つのが早すぎて、怖くなることがありますが、みなさんはどうでしょうか？

6月というと日本の学校では一学期がもうちょっとで終わり、夏休みまであと一か月ですが、イスラエルでは6月というのは一学年が終わり、夏休みが始まる月です。日本とイスラエルの夏休みは期間や過ごし方が違うので、紹介します。読んだらどこで夏を過ごしたいかを考えてみてくださいね。

みなさんは知っていると思いますが、イスラエルはとても暑い国です。(5月ですでにテルアビブでは気温が42℃・・・!)。子どもたちがあまり暑いと勉強ができないということで、真夏の7,8月は休みになります。私は子どもの頃この長い夏休みは嬉しかったけど、今思うと2か月も続くこの夏休みは働いている親にとって大変ではないかなと思っています。日本だと、学校は休みになりますが、保育園は休まずにやっていますが、イスラエルの場合は保育園も休みになるので本当に困りますね。そこで仕事をずっと休めない親のために特別な夏季システムがあって、「カイトナ」といいます。2~3週間の間だけ子どもを遊ばせる制度ですが、お金がかかります。調べたら、2週間くらいのカイトナは7~8万もすると分かって、ビックリ！一月1万の八百津の学童は素晴らしいですね。でも、カイトナは高いだけではないです。いろんなパターンがあって、結構面白いものです。テーマとして動物、マジック、乗馬、スポーツや自然と触れ合うなどのカイトナがあって、普段習えないことを体験できるチャンスですので良いと思いませんか？

勉強と言えば、イスラエルの夏休みは年度の

変わりだから、宿題がありません。課題も、工作や研究もありませんので、勉強したい人は個人で夏休み向けのワークブックを購入して、自分で勉強します。

学校では部活というものもありませんので、夏休みは家族旅行のシーズンです。海外旅行に出る家族が多くて、家族の絆を深める機会にもなるので、ちょっとうらやましいですね。

こうして夏休みを楽しむのは子どもだけではなく、親も。年中一生懸命働く親は夏に休んで子どもと一緒に楽しむことが当然のことです。うちの場合、母が学校の先生でしたので、夏休みの2か月の間ずっと休みでした。ラッキーでしょう？



カイトナのチラシ。スポーツ、プール、劇、クラフト、格闘技。盛りだくさんの内容。お昼までの昼食なしだと10日間で3万円。行ってみませんか？

日本の夏休みまであと1か月。今年も水分補給を忘れず、楽しく安全に夏を過ごしましょう。

ハニトさんへの質問は  
hanito@town.yaotsu.lg.jpまでどうぞ！